

想い合うってステキ!

ヤクルトと地域をつなぐコミュニケーションペーパー

おもやいっこ

「おもやい」は、「分かちあう」「想い合い」を表す東三河の方言。

みんなが少しずつお互いを想い合い、喜びや感動を分かちあえたらステキですね。

第4号

2015.4

のんほいフォーカス

地域の大人たちで地域の子どもたちを育てる
羽根井校区で13年続く「土曜ひろば」



学校が週5日制になった平成14年、TVやゲームづけになりがちな休日の子どもたちを家から引っ張り出そうと始まった「土曜ひろば」。会場は、土曜日の羽根井小学校と市民館。羽根井校区の大人たちがそれぞれの特技を生かして講師となり、18の講座を開催。学校と地域の人たちの協力を得て、子ども同士が、また子どもと大人が触れあえる場として、13年続いています。現在、羽根井小学校461名のうち約200名が参加。さらに毎回、約70名ものボランティアの大人たちが、さまざまな形で携わっています。和太鼓、クッキング、草笛・指笛と、講座内容もバラエティに富み、その成果を披露する発表会もおこなっています。「一生懸命やっている姿は感動します。子どもたちの力ってすごいなと思いますね」と「土曜ひろば」を企画運営している羽根井ふれあい推進委員会の天野紀久代さん。「子どもの居場所をつくり、よい人間関係をつくっていききたい」と、スタート時からの変わらぬ思いで取り組んでいます。

(花中センター 鈴木弘美)



▲羽根井ふれあい推進委員会委員長 天野紀久代さん